

ミャンマー2021 在沖縄ミャンマー人会

母国の思いを三線に乗せて平和を訴える





おばあラップーズ新城カメーと共演 ソウ アーカー カイ

在沖縄ミャンマー人会（チョチョカイ会長）は企画した母国の現状を伝える写真展やイベントで一生懸命練習をしてきました。三線による交流で沖縄の若い世代にも関心を持って欲しいと望みます。

新城カメーさんはミャンマーの若者たちを我がことのように三線指導や支援をしています。



カナダ2022 カナダ県人連合会

トロント球陽会



はじめて聞く沖縄民謡に耳を傾けるトロントの人たち

メッセージ

私は小さい時から三線を聞いて育ちました。三線の音色を聞くと、ウチナンチュの心は安らぎます。遠く離れたトロントでも三線に触れる機会をあることに感謝と感激しております。「世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト」は素敵な活動です。

島田さくら

メッセージ

ジェームス・ヘロン館長や多くの聴衆から賞賛・感謝の言葉を受けました。「世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト」の「心のこもった贈り物を大切に使います。トロントの人々にこれからも三線の音色を届けてまいります。

新里花野

三線グループ「とろろ」結成



島田さくら 比嘉夏代 新里花野 平良寧々 ケン・デビス県人会長

バンクーバー県友愛会 会長 辻本元之

ます。このプロジェクトが世界中に広がり、世界のウチナーンチュと三線の音色で繋がって行く事を願っています。

朝田隆次

メッセージ

当地では手に入れることの出来ない三線を沢山贈呈していただいて、大変感謝しています。三線の輪を広げていく一端を担いたいと思っています



初心者から中級者まで約 20 名が三線のメンバー、月に 2 回程度三線 & 琉舞の練習会。教師は野村流保存会師範 亀井美音先生です。

県人会の新年会、慰霊の日、サマーピクニック、世界ウチナーンチュの日において三線演奏。

三線のメンテナンス、備品の調達や気候により音質が変わることには苦勞していますが、県の芸能指導者派遣事業や支援が増えれば大変ありがたい。また今回の贈呈された三線のお陰で、三線を持っていない新メンバーに三線を触れることができ、活動の充実と活発化に繋がって大変喜んでいます。

朝田隆次



カルガリー沖縄県人会



大久典子県人会長 比屋根里奈 藤間さゆり 大浜澄江 ポービエン麻子

「やんばるの食生活・ハッピーサンドイッチ」映写会前に三線演奏をしました。みんなから喜ばれました。



トルコ2023 トルコ日本基金

わたくしはトルコへ赴任する前の3年間は、うるま市に住み、琉球国民謡協会の儀保弘先生から毎週三線を習いトルコへ渡り、日本国大使館公使として勤務。「日本人学校の生徒やトルコの人へ沖縄の文化を伝えたい」またトルコと日本は2024年で国交樹立100年を迎え「100周年に合わせて演奏できるといい」と意気込む中、NHK イスタンブール支局「国際報道2024」日本時間8月23日（金）22:00トルコ人向けの三線教室が放映されました。



儀保弘師匠

5人の生徒による三線教室は、沖縄の儀保弘三線師匠（うるま市赤道）とオンラインで繋ぎ、沖縄民謡の模範演奏を稽古しています。



スイス2023 エマ三線愛好会

より多くの人々に三線を体験してもらい、スイスの私の授業でより多くの生徒を受け入れることは、「世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト」の寛大な寄贈によって可能となりました。2024年1月、5丁の三線

が贈られました。4人の生徒が加わり3曲の沖縄民謡をマスターしました。彼らがいつか沖縄を訪れて地元の人々に会うことや、世界中の他の三線奏者や唄い手に会ったりしたときには、一緒に唄い、演奏することができ！なんてワクワクすることだろう！

エマヌエル

メッセージ

私はエマさんが指導する三線の授業に参加するのをとても楽しみにしています。授業の中で育まれる開放性、グループ精神、柔軟性に感謝しています。エマさんは、私には手の届かないと思われたトピックを教えるための教材を作成し、情熱と知識の両方を披露してくれました。「世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト」が提供してくれたかけがえのない支援にとっても感謝しています。彼らのサポートによって、私は新しい楽器を発見しただけでなく、まったく新しい音楽の世界に足を踏み入れ、思いがけない形で人生を豊かにすることができました。

ディオゴ・L

メッセージ

沖縄に7年間住んだ経験があって、沖縄旅行中にエマさんに出会いました。三線は以前からとても好きでしたがちゃんと習ったことがなくて、三線のオンラインレッスンで偶然には思えない出会いでした。私には絶対に無理と思っていた唄もなんとか頑張れるようになり、三線を弾くことがもっともっと楽しくなりました。大好きな沖縄への気持ちは、エマさんのレッスンのお陰で三線を通して表現できるようになったので感謝の気持ちでいっぱいです。

ポーラベルン・ユタ（ドイツ）



スイス北西部のバーゼルから来沖して平敷屋エイサーを稽古するハン・エマヌエルさん敷屋エイサーを学ぶ理由は「形や所作、柔らかさなどきれいな演舞で自分が求めているものだ」

ハン・エマヌエル